

— 芝浦工業大学 —

2月4日 (木) 全学統一日程 英語

解答・解説

- I 1. a 2. b 3. c 4. b 5. d
1. Bが仕事を辞めるつもりであることを、A「なぜ私に言ってくれなかったの？」に対するBの発言。「それを聞いたら、君が動転すると思ったんだよ」決めては次のAの発言中の比較級 **more upset**。省略されている **than** 以下は、Aの第1発言から **to know that you are going to quit the job**。
 2. 空所のA「どうやってこの場所を見つけたの？」に対して、Bの第2発言「私の同僚の一人が、私に勧めてくれたんだ」につながる。
 3. Aの第1発言「パーティー楽しくなかったの？」に対するBの発言。「いや、楽しかったよ」。その後のAとBのやり取りから、長居できなかったのは停電のせいだとわかる。否定疑問文とその答え方がポイント。
 4. Aの第1発言「ジャケットを、ちょうど今降りた電車に置き忘れた」に対するBの発言。「それ(=その電車)は今さっき出発した上野行きの電車ですか？」につながる。Aの第2発言が **yes** であることから、空所には **yes/no** で答えられる疑問文が来ると判断できる。
 5. Aの第1発言「今年健康診断はいつ？」に対するBの発言。「それ(=来週の土曜日の予定)を変更する必要があるかもしれない」から、続くAの **Why?**につながる。
- II 1. present 2. clear 3. novel 4. change 5. alien
1. 上が形容詞「出席している」 下が他動詞「Oをプレゼンテーションする、発表する」
 2. 上が他動詞「Oを片付ける」 下が形容詞「明快な、わかりやすい」
 3. 上が名詞「小説」 下が形容詞「斬新な」
 4. 上が他動詞「Oを交代する」 **change trains** で「列車を乗り換える」 下が名詞「小銭」
 5. 上が名詞「宇宙人」 下が形容詞「慣れない、相いれない」
- III 1. c 2. c 3. d
1. グラフ中の2018年から2019年にかけての著しい減少に注目。
 2. 2015年の700から、2018年の550を引く。 $700 - 550 = 150$ 。
 3. 2018年から2019年にかけて、550から220へと減少している。その差は60%である。
- IV 1. c 2. a 3. d 4. c 5. a 6. b 7. c 8. a 9. b 10. d
1. この文の **raise** は「〈金〉を集める、調達する、工面する」という意味。
 2. **courage** は「勇気」。itは形式主語で真主語は **to speak up**。takeは「〜するのにOを必要とする」という意味。
 3. **impose O on**〜で「〜(人など)にO(税金など)を課す」という意味。
 4. **uncover** は「Oを暴露する、明らかにする」この文が受動態になっているという点を押さえる。
 5. **spell** は「(天候などの)ひと続き(の期間)」という意味の名詞
 6. **proverb** 「ことわざ、格言」
 7. **remedy** 「〔病気・痛みの〕治療(法)」
 8. この文の **approve** は他動詞「Oを妥当だと認める、賛成する」
 9. **embark on**…で「〈困難だがわくわくするようなことなど〉を開始する、…に乗り出す」
 10. **a slip of the tongue** 「(ちょっとした)言い間違い」
- V 1. d 2. a 3. c 4. c 5. d 6. c 7. a 8. c 9. c 10. b
1. 「2番目に高い」という意味になる。【**the**→序数詞→最上級】の語順にする。
 2. 「もう一つは」の意味で **another** を用いる。
 3. 疑問詞+不定詞の形で、名詞句を形成する。
 4. **with** が付帯状況で用いられていることに気づけるかがポイント。【**with+O+C**】で「OがCの状態で」という意味。**oppose** は他動詞で「〈提案。計画・人の考えなど〉に反対する」

5. 所有格の関係代名詞。先行詞は few people。
6. 先行詞を含む関係代名詞 what。what seems impossible at first で「最初は不可能だと思われること」
7. by far が最上級の前に置かれて、強調の意味を表す。「断然…、ずば抜けて…」
8. be such that～で「(事が) あまりにもはなはだしいので～」という意味。
9. detail に複数であることを表す s がついていない。単数扱い。
10. be said+不定詞「～すると言われている」主語の中心の1語は having、単数扱いであることに注意。

VI 1. A c B e 2. A g B c 3. A a B b 4. A f B g 5. A a B f

1. Bluetooth technology enables devices to communicate with each other wirelessly over a short distance.

enable+O+不定詞で「Oが～することを可能にする」

2. History taught us that new technologies not only replaced some jobs but created new jobs.
not only ~ but (also)…「～だけでなく…もまた」

3. It was not until around 1990 that the media showed a strong interest in environmental issues.
it is not until…that～「…になって初めて～する」

4. It' becoming more and more important for educators to discuss what skills children will need to deal with a highly unpredictable future.

for children は、それに続く不定詞句の意味上の主語。discuss の目的語が【疑問詞+不定詞】の形になっている。

5. Do you know how many meters the sea levels around the world would rise if all of the ice covering Antarctica were to melt?

Do you know の後、間接疑問文がこの文の目的語を形成している。

VII 1. e 2. c

1. biomimicry 「生体模倣」とは…で始まる文に続き、D「その見事な一例が…」と続いている。Aがその具体例である。空欄の後に kingfishers 「カワセミ」が出てきていることから、並べ替えの最後はCであると判断できる。

2. entomophagy 「昆虫食」とは…で始まる文に続き、B→Dで熱帯地方における現状が語られ、続くEで in contrast に続き「温暖な地域」について書かれているという流れをつかむ。

VIII 1. ア c イ c ウ d エ d オ b

2. (A) b (B) b (C) a (D) b (E) c

3. 心臓のデジタルツインが分析される患者の数の増加に伴い、パターン認識に優れた一種の人工知能(AI)である機械学習が、心臓からの血液拍出量を調べるために使われることになるだろう。

4. b c f h

1. ア keep an eye on…で「…を(安全であるように)見張る」
イ capable は形容詞。後に of～ing を伴い「～する能力がある」
ウ to start with 「(文頭で)まず第一に」
エ combine A with B で「AをBと組み合わせる」

- オ benefit from… 「…で利益を得る、助けを得る」
2. (A) 下線部の 2 語前の and が、前の動詞 allow が作る句と、後の let が作る句を並列している。
allow の目的語である engineers が、同様に let の目的語にもなっている。
(B) keep track of 「〈事態〉の成り行きを把握している、〈人など〉消息を追う」
(C) sophisticated 「精巧な、高度な」
(D) symptom 「(病気の)症状」
(E) at intervals 「時々、折々」選択肢の中だと、periodically 「周期的に、定期的に」が最も近い。
3. as が導く節の中動詞 have が第 5 文型で使われている。C に相当するのが analyzed。主節の主語は machine learning で、後に続く a form of artificial intelligence that is good at pattern recognition と同格関係。
4. b → 第 1 段落の内容から。
c → 第 2 段落の内容から。
f → 第 7 段落の内容から。
h → 第 7 段落の内容から。

総評

- I 会話文中の空欄に適する文を選択する問題です。前後の文から正しいものを選ぶもので、標準的なレベルです。
- II 同綴異義語を書かせる問題です。3. はやや難しいかもしれませんが。5. は思いついても正しい綴りで書けるかが微妙なところかと思われます。
- III グラフの読み取り問題です。簡単な算数が盛り込まれていて、平易なレベル問題です。
- IV 短文適語補充選択問題です。語彙力が試されています。10 は、受験生は知らないかもしれませんが、「口を滑らせる」というフレーズから類推可能かと思われます。基礎～標準レベルくらいです。
- V IVと同様の形式ですが、こちらは文法力がポイントと言えそうです。2 など迷うものもあるかもしれませんが、こちらも総じて基礎～標準レベルです。
- VI 語群整序作文です。少々やりづらい問題もあるかもしれませんが。標準～やや難レベルと言ったところでしょう。
- VII 文章整序問題です。2 題とも、最初にどの選択肢が来るのかを正しく選べるかがポイントです。それができればわりと容易に正解を選べるはずです。標準レベルの出題です。
- VIII 問題としてはさほど難しくはないものの、語数が多く難しく感じた受験生も多かったかもしれません。3. 英文和訳問題は専門用語を含んでおり、受験生に完全解答は不可能かと思われます。

～全体を通して～

例年と同じか、やや易しいくらいのレベルではないでしょうか。ただ 90 分という長い試験時間でそれにふさわしい問題量であり、時間割上も最後の教科となるため、集中力を持続できるかどうかというのも、大切なポイントになろうかと思われます。